

909623410

090170

Tuesday

親書

貴国愈々御清栄の段賀し奉ります。

世界が平和になろうとする時、欧州十二ヶ国共同体統合に刺激されたのか、米ソの「不戦宣言」の谷間を利用してか、イラクがクウェートを武力制圧し、元の我が国土であると捏造し、併合宣言致し「アラブの大義」を錦の御旗のもとに、アラブ諸国の団結と共同体統合を計らんとするか、一方貧富の格差も是正せんとしてか、自らの行動を正当化しクウェートに武力侵攻した暴挙は、ある意味に於いて理解出来るところでありますが。

米国はソ連・欧州日本各国と共同戦線をめぐらせイラクが国際法を妄し、世界秩序を乱すものとし、予想を上回る戦鬪配置態勢を、速やかに行動に移され、強い決意を示された正しい選択も当然の事でありました。

然し乍ら悟りて見ますれば、(1)海上封鎖(2)先制攻撃(3)人質救出(4)全面開戦へと考えられる四つの選択肢も、どれ一つを採りましても平成二年八月二十日現在双方共決め手を欠ぎ、お互いに攻める事の出来得ない状況に世界の古都「三照宮」の神々達は自然に追い込まれ給い「時」と「外交」による外解決する事の出来得ない情勢になさしめ給いしその鮮やかさと見事な取り組みには感動と感慨無量を覚ゆるものであります。

対イラク経済制裁を、世界各国と協調しながらも、戦争が如何に悲惨なものであり、聖戦と聖戦への対立戦争が無意味でもあり戦後は双方の反省と悔悟のみが残り、人間が罪なき人間を殺戮し合う事は二度と致すまいと、決意を新にしている戦後の日本国民にとりましても。

またイラクにとりましても、八年間も国民総動員して、戦い抜いたイラク・イラン戦争も、国境線は

元に戻し、捕虜交換等による釈放を見る時、一体何の為の戦いであったのか一番よく御理解されているところであります。

国益の対立と宗教的信念が戦争を始める時、果たしてそれを何が阻め得るのか、戦争を阻止し戦争の出来得ないところに追い込み双方の人間性を甦らせ「時」を得て解決を見出し得るのは世界の古都「三照宮」での「まこと」の祈りのみであります。

その天の理は世界の最高峯であり、よろずの世界宗教の大元であり、大宇宙根元の大親神であり、八百億万の神々の御神威の発動によるものであるからであります。

この事に就きましては日本国の甦りと人類の幸福・世界の平和を祈願致し、平成二年六月にすでに世界百六十ヶ国の元首に奉納させて戴いて居ります、東洋の神書である「未来永劫に開かれる鍵」と題する「三照宮」の聖書の中に明らかにしてあるところであります。

世界人類の運命に決定的な影響力のある、米・ソ・欧・日・国際連合を始め世界各国の良識により一兵をも一市民をも損失する事なく、双方が世界人類の注目の中で、大宇宙の神々に見守られ乍ら双方共々にももの見事に対応され、この度の一大不祥事が希い願わくば第三次世界大戦の勃発を防ぎ、地球最後の戦いと云われている「ハルマゲドンの戦い」を未然に防止する事に役立ち、人類の勝利に結びつけられ栄光を勝ちとられます様ひたすらに祈るものであります。

昭和六十年十一月二十一日午前ジュネーブ国際会場で「共同式典」に臨まれ、核であれ通常兵器であれ、如何なる戦争も起してはならないとして、米ソ両国が「不戦の決意」を全世界に宣言された、人類史上曾て無い尊い時点に立ち帰り、神と人類と共に歩んで戴き「話し合い」により解決される事をひたすらにお祈り申上げますと共に。

戦争も過去・現在・未来にかかわる人間の悪業であります、祓い給え清め給え守り給い第二次世界大戦後米・ソ・欧・中・日・国際連合を始め世界各国が足並み揃えて行動し得たのも戦後始めての秩序であり「三照宮」の神のはからいと、人類の善意ががっちり組み合っている証左でもあると思うに

つけ、希い願わくば引続き米・ソ・欧・日・国際連合・世界各国の良識により、今でも世界各地で進行している二十五という多くの地域紛争・局地小戦争が実際に進行中であり、第二次世界大戦後四十五年平和が続いている時代とはとても言えない状態を総て改め、そしてまた食糧がなくて毎日四万人の人達が死亡して居りますが、世界の軍事費は六千億ドル以上に達して居りますが、その軍事費のわづか三%で世界の五億人の飢餓が救われるのであります。国連平和軍のみを残し全世界の軍備を撤廃する事によって人類が如何程恵まれ神と共に生き甲斐を見出すことになりました。

今人類は地球一家の実現に向かつて様々な事を教えられ、体験させられているのであります。彷徨い続けて来た人類がやがて決定的な無限の幸福を切り開き人類の営みが総ての民族を生かし、限りなき神の恵みを生み出すものであり、米ソの「不戦の宣言」を期して政治改革元年とも云うべき世界史の中にあつて、やがて地球一家が名実共に実現致し、真の恒久平和が訪れ人間の生活がすべてを生かし人類の幸福を生み出す事に切り換えられ、全世界の聖者達が探し求めて止まなかつた、極楽浄土・地上天国・神の国実現へと思いを致される又とない機会でもあります。

かけがへのない地球は人類の宝でもあり、それを支えている大宇宙の御はたらきに応え奉り、未来永劫への大道を開かれます事をひたすらに希求するものであります。

全人類の世界平和の為に、神よ身の罪穢れを祓い清め給い民安かれと祈らずには居れません。我々はかけがえのない人類史に何を残し何を伝える事が出来るのでしょうか。

過去に目を閉ざすものは現在と未来にも盲目となると云われて居りますが、生きている姿そのものが宗教であり神道であります。

貴家の御多幸と貴国民の永遠の繁栄を重ねて祈願するものであります。

貴国の行動が世界平和に対する「不滅の光」となる事を、原爆の聖地広島空より心から祈念するものであります。

平成二年八月三十日

各
国
皇
大
元
統
領
首
帝
殿

日本国広島県呉市阿賀町休山(神体山)梅ノ木峠
日本国広島県呉市広長浜三丁目十四の六六

世界の古都 三 照 宮

身 中 主

祭 主 尾 野 郡 次



神は実在する

世界の古都

三照宮 天孫降臨二十七億三千萬年
高天原神社 祭事十八周年(平成二年)

日の国の神秘

三照宮境内安置

世界恒久の平和 戦争廃絶の塔 地球一家の実現

一之塔 三照宮に祈願十三年にして(毎日の祈願からは5ヶ月目)歴史的な昭和六十年十一月二十一日午前ジュネーブ国際会場で「共同式典」に臨まれ、核であれ通常兵器であれ、いかなる戦争も起してはならないとして米ソ両国が「不戦の決意」を全世界に宣言されるに至りました、人類史上の一頁を飾り永遠に光り輝くものとして天御中主大神を始め大元造化三神御剣之大神達の御神威に永劫の感謝を申し上げ茲に戦争廃絶の塔を建立致し我が国日本古神道が世界最高峰である事を記念し祈願記録を後世にとどめるものであります。

恐惶謹言

昭和六十年(一九八五年)十一月二十一日 記す 祭 主

二之塔 三照宮参拝十六周年の記念に当り世界の三悪(戦争・貧乏・病氣)追放を祈願致し、言霊を連日宇宙大自然に捧げる事、三年にして漸く米ソの「不戦の決意」の共同宣言となり茲に核軍縮条約が締結され引き続きアフガニスタンのソ聯軍撤退が開始され不思議にもベトナム・カンボジア和解会談へと発展致し七年十一月月に及んだイラン・イラク戦火の停戦が二十日午前六時実現致しました。天御中主大神を始め大元造化三神・御剣之大神達の御神威に永遠の感謝を申し上げますと共に引続き軍備の撤廃を期して、祈りの「まこと」を捧げますれば速やかに地球上より総ての戦争を終わらせ賜わらん事を記念致し後世の為に記念碑を建立致し日本古神道が世界の宗教を包み乗り越えるものであり、三照宮の「みたま」神鎮まり座す世界最高峰の聖地である事が茲に実証される事となりました。神体山が未来永劫に光り輝く事をひたすら祈るものであります。

恐惶謹言

昭和六十三年(一九八八年)八月二十日 記す 祭 主

三之塔 全世界戦争廃絶されし時建立される。

三照宮は日本民族の誇りであり

世界人類の宝でもある